

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	質量分析法によるコリネバクテリウムの同定および薬剤感受性の検討
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 眼科学 佐々木 洋
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2023年3月
対象者	次の1と2の基準に合致する当院眼科を受診された20歳以上の患者さんを対象とします。 1. 2019年1月から2020年5月までの間に内眼手術（白内障、緑内障、硝子体手術）または外眼手術（鼻涙管、眼形成手術）を予定し、術前結膜擦過培養を行った患者さん 2. 結膜嚢からの検体の細菌学的検査にてコリネバクテリウムが分離された患者さん なお、以下の患者さんは調査の対象外といたします。 ◆ コリネバクテリウム以外の細菌が分離された患者さん ◆ 結膜嚢からの検体の細菌学的検査が施行できなかった患者さん
当該研究の意義・目的	眼科周術期の感染予防目的として強力な殺菌作用と広い抗菌スペクトルをもつ抗菌薬が日常的に使用されていますが、耐性化菌の増加が近年問題となっています。結膜嚢常在菌に対し適切な抗菌薬を選択し、周術期に投与することは術後眼内炎発症の一つの対策です。コリネバクテリウムは結膜嚢の常在細菌叢として高頻度に認められ、近年眼感染症を引き起こすことが報告されており、その菌種ごとの病原性の差から菌種同定が重要です。 今回の調査では、内眼、外眼手術術前患者さんを対象として、結膜嚢から得られた培養検体を使用し、質量分析法を用いて分離されたコリネバクテリウム菌種、薬剤感受性、患者背景を明らかにすることによりその理解と知識を得ることを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	2019年1月から2020年5月の間に結膜嚢内よりコリネバクテリウムが分離された患者さんについて、電子カルテより分離したコリネバクテリウム分離菌種およびその薬剤感受性、患者背景の情報を収集します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 眼科学 神山 幸浩 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（3416）

作成日： 2020年5月17日